

リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲州市立塩山中学校（山梨県）【指定校】

【取組内容】 生徒会活動における情報共有のための汎用的なソフトウェアの活用

本校では、生徒会活動において委員会や部活動ごとにclassroomを作成しており、各活動や連絡等に活用している。生徒たちが活動の中で積極的に表計算ソフト等を活用することで、**情報活用能力の育成**を行っている。特に、この実践では「**情報の整理・比較**」「**情報の発信・伝達**」「**情報の共有**」「**情報モラル**」といった点の育成につながると考える。事例として紹介する取組は以下の2点である。

- ① 学園祭の活動を知らせる日報における活用事例
- ② 福祉委員会のアルミ缶回収活動における活用事例

①学園祭の日報（リンクあり）

「全校生徒」というclassroomを利用して、学園祭の様々な情報を掲載している。ここでは「日報」「取り組み計画」「時程」「取り組み」の情報が一括して見られるようになっている。

炎翼祭取組のスケジュールに関するものです。
毎朝確認して、見通しを持って取り組めるようにしましょう。

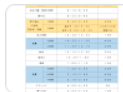
取り組み「青春ミッケ！」もアップしておきますので、毎日忘れずに！



【日報】炎翼祭
Google スプレッドシート



2 学期取り組み計画表（生...
PDF



時程など（生徒配布）.pdf
PDF



【炎翼祭取組】青春ミッケ！
Google ドキュメント



【炎翼祭取組】青春ミッケ！
Google フォーム

部門の担当生徒が、その日の連絡を入力し全校生徒への共有を図っている。また、各部門のclassroomも作成しているので、細かい連絡はそこで行っている。

部門の連絡

放送	放送部Classroom	活動あり。放送原
学級旗	学級旗部門Classroom	本日から色塗り旗は職員室森の旗に取って来て下さい
美術	美術部Classroom	クラスルームで部の予定を毎日確認してください。
科学技術	科学技術部Classroom	クラスルームで部の予定を毎日確認してください。
家庭	家庭部Classroom	クラスルームで部の予定を毎日確認してください。
吹奏楽	吹奏楽部Classroom	クラスルームで部の予定を毎日確認してください。

★執行部より

今日は炎翼祭の取り組み2日目です。昨日の取り組みでは各クラスのリーダーを中心に各クラスでやるべきことを徹底して行っていたので良かったと思います。今日も各クラスでの時間があるのでその中で集団の中に埋もれるのではなくそれぞれが自己開示をし、自分で考えて行動するようにしましょう。しかし、朝練に時間ギリギリに来る人がいたり掃除に行くのが遅い人がいたり全校生徒に中に意識の個人差があると思います。それでは炎翼祭を最高結実なものにすることはできません。今日の取り組みでは意識の高い人に基準を合わせた生活をしていきましょう。

生徒会執行部からのメッセージを毎日入力し、様々な発信や共有を行っている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲州市立塩山中学校（山梨県）【指定校】

【取組内容】 生徒会活動における情報共有のための汎用的なソフトウェアの活用

②福祉委員のアルミ缶回収（リンクあり）

1月9日

来週からのアルミ缶回収は
アルミ缶回収の分担
月曜日 休み
火曜日 緑系列と赤系列
水曜日 黄色系列と緑系列
木曜日 SUNで回収なし
金曜日 全員

福祉委員会の委員長が福祉委員に向けて回収の当番の確認や連絡を行っている。

👉これでいきます。年明け初のアルミ缶回収です。全員が送れずに来てください！
前の委員会のときに確認したことを忘れずに行い、全校で100%を目指しましょう！！！！
※一番最初の回収ではいつも少ない傾向にあるので今回は2つの系列だけにします。

【成果】

生徒会活動において、汎用的なソフトを活用することにより、生徒自身が直接情報発信を行えるようになった。また、クラウド化したことにより追加・修正、情報の整理が容易になった。情報活用能力も育成できた。

最初は、表計算ソフトを活用して、各学級の回収率を集計するための表を教員が作成し、福祉委員で共有しながら情報の整理・確認を行っていた。

委員長の発案で学級の回収の取組の振り返りとして評価（プルダウン）とその理由を入力する欄を、生徒自身で追加した。

	6月10日(月)	6月11日(火)	6月12日(水)	6月13日(木)	6月14日(金)	参加者数	合計	回収率
1-1	2	1	8	12	5	28	31	93.9%
1-2	5	7	5	3	5	25	26	78.7%
1-3	4	4	7	3	6	24	24	75%
1-4	7	2	5	4	7	25	28	84.8%
2-1	3	6	6	7	3	25	27	96.4%
2-2	4	3	3	10	5	25	28	100%
2-3	3	5	3	3	10	24	28	100%
2-4	7	8	4	3	3	25	28	100%
3-1	2	3	4	8	12	29	34	97.1%
3-2	4	3	6	7	11	31	36	100%
3-3	3	0	9	7	11	30	35	100%
合計	44	42	60	67	78	291	325	93.1%



9月20日(金)	参加者数	合計	回収率	クラス評価	理由
10	32	33	100%	A	ちゃんと声掛けをすることができた。その結果、回収率が100%になることができた。
11	21	23	69.6%	C	声掛けは個人的にもしたが、それでも持ってくる人が一学期より少なくなってきたから。
19	28	30	100%	A	回収をする日数が少なかったけどしっかり呼びかけをして、目標を達成することができたから。
13	22	26	78.7%	C	声掛けを行うことはできたけど、回収率が下がってしまったから。
9	24	27	96.4%	B	1日1日に呼びかけなどをしたのはいけいけど、まだ意識の低い人がいたから。
13	22	22	78.5%	B	呼びかけはできていたけど、欠席者を除きあと一人で100%だったから。
10	23	27	96.4%	B	しっかり呼びかけをすることが出来たけど、回収率を100%にすることが出来なかったから。
8	24	27	96.4%	B	呼びかけなどをすることができたが、全員持ってくるのができなかったで次回100%にできるようにしたいです。
25	32	35	100%	A	クラスにしっかりと呼びかけをし、回収率100%にすることができた。
18	28	34	94.4%	B	呼びかけなどはしっかりとできたが、返事や挨拶をしたり、「挨拶をして」などの呼びかけをできなかったから。
23	27	35	100%	A	呼びかけをして全員が持ってくるすることができた。
159	283	319	91.4%		

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	目標達成まであと
重さ[kg]	24	22	30	33	33	25	30	18		215	15kg
本数(およそ)[本]	1600	1467	2000	2200	2200	1667	2000	1200		14334	1000本

表計算機能を活用した回収量の管理